

令和7年度 第1回

札幌市救急医療体制検討部会

日時 令和7年4月3日（木）18時30分～

会場 札幌市役所本庁舎12階2号・3号会議室

1

救急医療体制検討部会の委員

氏名(敬称略)	所属・役職	備考
野中 雅	一般社団法人 札幌市医師会 副会長	審議会委員・部会長
中村 博彦	特定非営利活動法人 北海道病院協会 理事長	審議会委員
成田 吉明	一般社団法人 日本病院会 北海道ブロック支部 支部長	審議会委員
上村 修二	札幌医科大学 医学部 医療安全・病院管理学講座 准教授	審議会委員
田作 淳	公募委員	審議会委員
中村 雅則	一般社団法人 札幌市医師会 救急医療部長	医療関係団体
成田 慎一郎	一般社団法人 札幌市医師会 急病センター部長	医療関係団体
小林 大時	札幌市災害救急告示医療機関協議会 会長	医療関係団体
古田 博文	札幌市小児科医会 会長	医療関係団体
沢本 圭悟	札幌医科大学病院 救急医学講座 助教	三次救急医療機関
提嶋 久子	市立札幌病院 救命救急センター部長	三次救急医療機関
和田 剛志	北海道大学大学院医学研究院 侵襲制御医学分野救急医学教室 教授	三次救急医療機関
碓 光司	北海道医療センター 救命救急部長	三次救急医療機関
奈良 理	手稲溪仁会病院 救命救急センター長	三次救急医療機関
田口 大	勤医協中央病院 救急科長	二次救急医療機関
丸藤 哲	札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター長	二次救急医療機関
平山 傑	札幌徳洲会病院 救急科部長	二次救急医療機関
南須原 康行	北海道大学病院 病院長	有識者

2

本日の議事

1. 審議事項

■ 救急医療体制の課題（小児科初期救急医療体制）

- 札幌市医療体制検討審議会への提案事項

2. 報告事項

■ ワーキンググループでの検討状況

- 外科系救急医療体制
- 救急搬送支援・情報収集・統計分析システム
- 転院調整支援システム

3. その他

■ 次回の審議事項

1 審議事項

■ 救急医療体制の課題（小児科初期救急医療体制）

- 札幌市医療体制検討審議会への提案事項

札幌市医療体制審議会からの付託事項

第2回札幌市医療体制審議会（令和7年1月28日開催）での審議結果

- 夜間急病センターにおける小児休日拠点の運営に求められる体制（案）については、**救急医療検討部会**において審議する。

本部会にて検討した以下の2点を審議会に提案する。



- ① 拠点として必要な診療体制数
- ② 拠点として必要な診療レベル

札幌市医療体制検討審議会への提案事項

別紙資料

札幌市医療体制検討審議会への提案事項

●本日の審議事項

夜間急病センターにおける小児休日拠点の運営に求められる体制（案）については、次のとおりとしてよいか。

- ・年間を通じて2診療体制が必要
- ・当番医療機関と同レベルの診療が必要

また、「小児休日拠点の開始時期については、令和7年10月を目標に迅速に検討すること」という意見を付して提案することとしてよいか。

2 報告事項

- 救急医ワーキンググループでの検討状況
 - 外科系救急医療体制
 - 救急搬送支援・情報収集・統計分析システム
 - 転院調整支援システム

外科系救急医療体制 ワーキンググループの検討状況

開催日 令和7年3月24日(月) オンライン会議

- 内容
- ①現在の外科系救急医療体制の確認
 - ②短中期的な体制の見直し案の検討
 - ・外科系初期救急医療体制の当番時間の変更
 - ➡「24時間」から「二次救急医療体制と同様の時間」に変更
 - ・準当番制度の導入
 - ➡22時までの対応とする準当番制度を導入
 - ➡準当番は、救急告示医療機関以外でも可能とする
 - ③長期的な体制の見直しの方向性の検討
 - ・初期救急診療拠点の設置を検討

9

救急搬送支援・情報収集・統計分析システム ワーキンググループの検討状況

開催日 令和7年3月19日(水) 書面会議

- 内容
- ①システムの課題等の抽出と改善案作成
 - 調整中の追加する機能
 - ・応需状況抽出機能、システム上での情報共有機能
 - ルール等の確認・整理
 - ・予後情報の入力方法、初期救急医療機関の入力
 - 改善等要望
 - ・応需状況画面のレイアウト変更、応需可能状況の可視化
 - ・転院調整支援システムとの連携、動態管理画面からの受入打診
 - ②データの分析
 - ・救急医療体制の検証に必要となるデータのまとめ方を検討

10

転院調整支援システム ワーキンググループの検討状況

開催日 令和7年3月21日(金) オンライン会議+書面会議

- 内容
- ①利用状況、アンケート調査の分析
 - ②システムの課題の洗い出し
 - ・利用目的の確認、利用者の拡大、業務量軽減
 - ③対応策(案)の整理
 - ・ルール等の整理
 - ➡システムの目的や運用ルールを整理し、分かりやすいシステムへ
 - ・対象の拡大・周知
 - ➡利用の活性化、利用方法に応じた医療機関への周知方法を検討
 - ・システムの改善
 - ➡より見やすく、使いやすいシステムに

11

3 その他

■ 次回の審議事項

12

次回の審議事項

次回(6~7月ごろを予定)の審議事項(案)

◆救急医療の課題

- 救急医療体制の課題(小児科初期救急医療体制)
- 救急医療体制の課題(外科系救急医療体制)

◆救急医療に係るシステムの検証

- ワーキンググループでの検討状況について

全体のスケジュール (予定)

	令和7年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降(次年度)
審議会 (親会)		●【第1回】 (5月ごろ)		●【第2回】 (6月ごろ)			●【第3回】 (R8年3月頃)
救急医療 検討部会	●【第1回】 (4/3)			●【第2回】 (6~7月ごろ)			●【第3回】 (冬期)
WG (外科系救急)		■					
WG (SIRIUS)		■				■	
WG (転院調整支援)		■				■	